

並滝自然体験学習会 五感で楽しむ里山の12ヶ月

里山通信

第87号
2016.12



飛んでくれー

朝、東広島市は冷え込みが厳しく、マイナス四度ぐら
いまで下がった所もあつたようです。なみ滝藤原園は
霜でまっ白。並滝寺池は水面から水蒸気が立ちのぼつて
いました。これは蒸気霧という現象で、暖かい水面に冷
たい大気が接した時に起こるそうです。
今月は、竹とんぼを作って誰が一番遠くまで飛ばせる
か競争しました。冬場の作業のトートムポールづくり
も取り掛かりました。野外料理は、もうすぐクリスマス
なので、子どもたちが大好きなピザとチョコレートケ
キを作りました。

竹トンボづくり

トートムポールづくり



焼き芋とチーズパンでやる気UP

竹トンボの羽になる部分を薄く削り、竹トンボの中央に開けてある穴の大きさに合わせて心棒にする竹を削ればよいように、くじら先生が竹トンボキットを作ってくれました。羽にする竹に削ってはいけない所が分かるようにマジックで印をつけると丁度いい厚さと大きさの羽を作ることができました。心棒は細くしないといけないと思うのでしようか、出来上がった心棒は今にも折れそう。心棒が細すぎると頭でっかちで飛ばないのだ。



今月の子料理



ピザ生地を伸ばし、玉ねぎがいっぱい入った里山特製ピザソースを塗り、トッピングをしてピザ窯で焼きました。冬野菜のチャウダーにはカブ、白菜、人参、ジャガイモ、小松菜、玉ねぎをたっぷり入れました。生地ココアと溶かしたチョコレートを混ぜて焼いたケーキ。パン、焼き芋、ピザをたくさん食べてたのに、子どもたちは大きなケーキをペロリ。



今シーズンの冬場の作業はトートムポールづくり。テーマは喜怒哀楽。4回に分けて仕上げます。1回目は杉の丸太の皮をはぎ、喜怒哀楽を表した顔を書きました。竹を使って皮をはがしていくと白い木肌が見え「きれー」という声があちこちから上がり、皮はぎに熱が入りました。